

出雲記念館 写真スタジオ

当分祠に隣接されるレングの建物「出雲記念館」の写真スタジオは三十年以上の実績があります。お宮参り、入学式、卒業式、結婚式、七五三、成人式など人生の節目に皆様の思い出が素晴らしいものとなりますよう、専属のプロカメラマンが撮影。画質・明るさ調整を加えて最高の状態で製作します。

出雲大社相模分祠の境内でロケーションフォト！人気プラン
プロカメラマンと作るスナッパアルバム
【思い出スナッパ】
一六五〇円〜・五十分

※時間内枚数無制限〜50カット以上〜カメラマン1名（写真データ納品）
プリントアルバム別注
・お祝いのお子様、ご家族様も一緒に思い出写真を残せます。



プロカメラマンと一緒に自分だけのアルバムを作り上げます。



幽世を司られる大神様の御神徳（幽顕より抜粋）

大國主大神様は目に見えぬ幽世を司られる神様でいらつしやる。幽世とは神々や霊魂の世界であり、大神様は八百万の神々を統率なされると共に、生きとし生けるものの霊魂をお守りくださっている。この御神徳を特に詳しく伝えていくのが『日本書紀』所収の神話である。

神代の昔、日本の国づくりに励まれた大國主大神様。やがて高天原の神は遣い神を出雲の地へと派遣され、大國主大神様との国譲りの交渉が行なわれた。当初、国土を譲るかどうかを問われた大神様は、唐突の出来事に遣い神の申し出に疑念を持たれた。そこで遣い神は一旦高天原へと戻られ、

高皇產靈尊（たかみむすびのみこと）様へそのことを報告された。そして、再び遣い神が出雲の地へと派遣され、高皇產靈尊様は大神様に対して以下のような神勅を下された。

「汝が治めている現世の政治のことは私の子孫（皇孫）に治めさせよう。汝は目に見えない幽世の神事を治めなさい」

この神勅により、目に見える顕世（うつしよ）のことは皇孫（代々の天皇陛下）が治められ、目に見えない幽世のことは大國主大神様が治められることとなり、天皇陛下を真中に仰ぐ日本の国柄が開かれた。

このことから、特にこの神勅を「幽顕分任（ゆうけんぶんんにん）の神勅」と呼んでいる。

大國主大神様が霊魂の世界を司られ、人々の霊魂を守護されたとの信仰もまた、大神様が目に見えない幽世を司られるとの御神徳に由来している。

幽世は神々の世界であると共に霊魂の世界でもある事から、大神様は人々の霊魂を司られる幽顕主宰大神との信仰が結ばれ、出雲大社教初代管長千尊福公によって広く霊魂の救済が説かれた。

人々の霊魂は大神様の御神徳によって幽世で結ばれ、この世に生を享ける。そして死後の霊魂は再び幽世へと帰って家の守護神と鎮まり、大神様の御加護を受けて高き神の位へと進む。即ち幽世は、生命の根源であり、

祖霊坐（ま）す故郷。故に「人亡くなく」と表現するのである。



秦野市洪沢丘陵に神道墓地建立

いのちの杜づくり2020プラス1

植樹祭を計画

令和四年、秦野市平沢向山で「環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト賛同事業植樹祭」。

主催は「いのちの森づくり2020プラス1出雲大社相模分祠」、共催「秦野市」「平沢御嶽神社」で、本来は2020年に開催予定であったが、感染症予防の為に中止となり、改めて環境省とも打ち合わせを行い開催を予定している。

いのちの森づくりは、日本人が太古より続けてきた、森を守り、広げ、育ててきた「Chin-to-Mori」そのプロセスと成果を世界に発信することのできる未来志向の企画です。



日本書紀に、須佐之男命と息子の五十猛神が日本中に種を蒔いてあらゆる山が青々しい山になった話が記述されています。すでに日本人は神代の昔より、植樹を行い環境を大切に守ってきた世界に誇る文化を持っています。世界中の地球市民のために土地本来の森をつくることは最低限の生態系をローカルから地球規模で

維持し、人類がこの緑の惑星地球で未来に向かって生き延び着実に発展するもつとも的確で正攻法の手段であることを理解して頂くため、自ら企画運営して共に東京2020年に足下から額に汗し、手を大地に接して、小さな苗を植えていく。その成果とノウハウを日本から世界に発信していく。宮協昭、いのちの森づくり運動です。

出雲大社相模分祠長 草山清和

永代供養付き 納骨堂のご案内

出雲大社相模分祠では、古くより神道による供養、祖霊祭祀を啓発している。出雲大社のご祭神「ダイコク様」は縁結だけでなく幽冥主宰大神として死後の世界を司る神様として伝承される。

日本では古来より神道文化の島国ではあるが、海外の多様な文化と習合され、とくに江戸幕府の政策により仏教の檀家制度が全国に広まった。それより以前から出雲大社では神道の供養を通して、庶民の葬式やお墓の問題に積極的に関わってきた。

明治維新において、国家神道とは立場をわかし、神道の民間布教を通じ神葬祭や埋葬の作法などを教導するに至った。



当分祠の傍らに鎮座する祖霊社は、日本人のご先祖様の御霊をお祀りし、大神様の御傍で供養するものである。

納骨堂の利用法
納骨堂・神道墓地は当社の信徒・崇敬者の方ならどなたでもご利用頂けます。実家が仏教でも、新たに神式に改めることも可能です。

はじめに納骨堂にご遺骨を安置して、御霊さまの鎮魂・供養を致します。弔い上げの際には、秦野市洪沢丘陵にある神道墓地に永代供養し、秦野の里山自然に還ります。

納骨堂でお預かりする際は年間一百万円の管理料が必要になりますが、弔い上げで神道墓地へ永代供養墓に追加の費用なく埋葬できます上に、そのあとの年間管理料も不要になります。

後継者に負担をかける心配もございません。

祖霊社の神事
神葬祭・五十日祭（法要）・一年祭・水子供養・お盆・彼岸供養・埋葬・永代供養・墓じまい等。ご相談お問合せは出雲大社相模分祠まで（要予約）神事後の直会（会食）も隣接する出雲記念館で

永代供養付納骨堂

永代供養料 33万円
年間管理料 1万円

出来します。

祖霊社で斎行すること御自宅、霊園へ出張祭典も可能です。

みたままつりのご案内
祖霊社にて、毎月第一日曜日午後三時より合同

のみたままつりを斎行しております（参加無料）。神楽をあげて祭詞を奏上する中、御参列の方のご先祖様・愛する故人の御名前を一人ずつお読み上げして丁寧に供養致します。